**⑬　テロリズム**

**Ⅰ．テロリズムとは**　　ホフマン『テロリズム』

→これをまとめた者

1. 意味の変遷

→テロリズムという言葉の意味

→変化してきている

1. **フランス革命後の**【　　恐怖政治　　】　革命「国家」が行使する統治手段　肯定的な意味→必要なこともあったため、まだ肯定的
2. **反君主制、反国家、**【　革命　】**的**　犠牲者は皇帝・皇族・政府高官

→革命を行う側

1914年【　　　サライエボ　　　】事件　オーストリア皇位継承者フェルディナント大公暗殺

→重要な例

→オーストリアの皇位継承者

→帝国にあった

→セルビアも一部だった

→テロリズムと呼ばれた

→これが第一次世界大戦のきっかけになる

→ウィーンの軍事博物館に服装などがある、当時の

1. **独裁政権による**【　　　自国民弾圧　　】**の手段**（1930年代～40年代）　「恐怖（テラー）」

→恐怖としてのテラー

→独裁政治

→フランコ政権、スペ委員

1. 【　民族　】**主義／反**【　植民地主義　　】**グループの抵抗運動**　再び革命的な意味

→国家から独立を勝ち取る

　【　　　シンガポール　　　】陥落・【　　大西洋　】憲章　⇒　WWII後に世界中に広がる

1. 【　国際　】**テロリズムの登場**（1960年代後半）　世界規模の安全保障問題へと変容

　1968年のイスラエルのエルアル航空機の【　　ハイジャック　　　　】（PLO系）

→P→パレスチナ　、PLO→パレスチナ解放機構

　　新しい点：1)大胆な【　　政治声明　　】（テロリストの釈放）,political statement、2) 【　象徴　】的な攻撃目標、

3) 大【　惨事　】を引き起こす可能性、4) 大【　　ニュース　　】となる事件

→基本的には国内なものが国際的な影響を及ぼすようになった

1. **現代の**【**宗教**】**テロ組織の登場**（1980年）　【　　イラン革命　　　】の影響

→イランは厳格な宗教から立脚した国家になった

→イラン革命は関連するテロ組織

→テロ行為などを行う

→90年代→イスラム過激派が多かったが、、、、

　1990年代　数の増加　イスラム教以外への拡散　暴力行為の【　甚大　】化、規模が大きくなっていった

　1995年の【　　　　地下鉄サリン　　】事件　12名死亡　4000人近い負傷者　オウム真理教

→東京の日比谷線、霞ヶ関

→やべえ被害

→大量破壊兵器

　【　　　大量破壊　】兵器の使用の可能性が高まっているのではないか。

→核兵器、化学兵器、生物兵器

→地下鉄サリン事件は世界中から注目を浴びた、海外でも有名

→画期的、化学兵器を使ったことから

２．テロリズムの定義

　【　政治　】的な変化(ex.独立を求めるなど)を求めて、【　暴力　】を使い、または【　暴力　】を使うとおどして【　恐怖　】を引きおこし、それを利用すること

→恐怖、terror

**Ⅱ．国際社会の課題**　　『白書』186-191, 198-203

１．最近の国際テロリズムの特徴

　①**国際テロの脅威の拡散傾向**：中東・北アフリカを中心 図表（200）

→

【　　　グローバル　　】なネットワークの形成　情報共有・連携、武器や資金の獲得のため

→蜘蛛の巣　→　一部のテロ組織

→広報→高度な広報戦略

→Youtubeみたいなrecruit戦略

→

　　一部のテロ組織　高度な【　広報　】戦略　【　　サイバー　　】攻撃能力

→日本赤軍　→PLO→国際テロの時代

→エスカレートしている

→インターネットがその大きな役割を果たしている

→一般の人が使い始めたのは1990年台半ばぐらいのもの

犠牲者数の増加傾向　2014年　過去最多の【 3.2 】万人　一般市民の被害が増加

②**テロ実行主体の多様化**：国際テロ組織によるテロ攻撃を呼びかけている

　【　　ホーム　・　　グロウン　　】型：自国民が居住国でテロを実行 p187

→みんなで集まってやるという形

　【　ローン　　・　ウルフ　　】型：個人や団体が単独または少人数でテロを実行

→勝手にやる

→一方的に感化、組織ではやらない

③**日本人の**【　　攻撃対象　　】**化**：ISIL　15年：シリアにおける邦人2名の殺害

→ジャーナリストが捕まる

16年：バングラデシュにおける【　ダッカ　　】襲撃テロ事件　邦人7名が死亡

→高級なレストランで死んでしまう

→日本人も含んで7名が死んでしまった

→日本人しか行かないような高級レストランはターゲットになりやすい

→日本人→最近はイスラム人は対象にし始めた

→自衛隊を出してアメリカを助けているから？

→身代金の要求

→助長

→影で自国民を守ろうとしている

→身代金を払わないようにした

④**国際社会全体としての取組**：1)軍事的な手段、2)テロ組織の【　資金源　　】の遮断、

　3)テロ戦闘員の【　　国際的移動　　　】の防止

２．ISIL（イラク・レバントのイスラム国）

→ISって呼ばれるあれ

1. 源流：04年に設立されたアルカイダ系テロ組織「【　　イラク　】のアルカイダ」

　　14年　バグダディは自らを【　カリフ　　】（後継者）と称し「イスラム国」の樹立宣言

→モスクで宣言

→バグダティの子供が戦死、最近　→　有名人

　②特徴：1)贅沢な【資金　　】　一日の石油収入（約1~2億円）、身代金収入、税収

→油田の収入から毎日一億円入っているらしい、やべえ

→国家みたいなもの

→色々なことができる、戦闘員に対して給与を払うこともできる

2)強力かつ洗練された【　軍事力　　】　旧イラク軍の将兵や外国人戦闘員の参加

→イラク→スンニ派の国からシーア派に

→政権交代により

3)一定の【　領域　】を事実上支配　政府のような組織（大臣・知事）

4)巧みな【　広報　】戦略　インターネットやソーシャル・メディアの活用

5)独自の政治・宗教的秩序の追求を優先　【　　カリフ　】制国家を標榜

6)欧米諸国などへのテロの呼びかけ　拠点から【　　遠く離れた　　　】地域でのテロ実行能力

→ex　フランスとかベルギーにいる人たちを呼ぶ

→拠点から遠く離れたところからやっている

③イラク・シリアでの対ISIL軍事作戦

　米中心の有志連合やロシアによる支援　戦闘員殺害　【　石油】関連施設への空爆

→ドローンのパイロット→米本土にいたりする

1）イラクでの動向：支配地域　【 40 】％（14年）⇒【 7 】％弱（17年3月末）

　　16年　イラク第2の都市【　モスル　　】奪還作戦開始　2017年7月9日　解放宣言

　　最近のモスルの様子：https://www.youtube.com/watch?v=rJKut6EeyI4

2）シリアでの動向：【　アサド　　】政権・反体制派・ISIL

→アメリカは引き摺り下ろした買った

→軍事的に勝利

→ほぼ政権の座についていられる疑惑

17年6月　シリア民主軍（SDF）によるISILの本拠地【ラッカ】の包囲

→ラッカ

**Ⅲ．日本の取組**

１．国家安全保障戦略　　『白書』464, 466

国際テロの脅威

→我が国→国民はテロの脅威に瀕している

→危険性の確認

→学生の旅行中に捕まるということ

466　→　(5) 　→国際テロ対策　→　対策協力　→　国際的な法的枠組

→

２．自衛隊の派遣　　『白書』269

　①【　テロ　】対策特別措置法（2001年）・【　補給　】支援特別措置法（2008年）

インド洋において、テロリストの移動や武器等の関連物資の輸送を防止・抑止するための海上阻止行動を行う諸外国の軍隊に対する洋上【　補給　】活動等

→アメリカは対テロ戦争をアフガニスタンで行なっていた

→無料で水をあげるということをしていた

→補給

→日本は無料ガソリンスタンドみたいな状態になっている

　②国際平和支援法（2015年）　国際平和【共同対処】事態

質問コーナー

①→身代金→政治目的→政治テロ行為

→イスラム国→資金源を増やすために身代金を要求していた

→政治目的であるもの

②→ テロ戦闘員

→外国人戦闘員→国境を越えて情報を共有する

③モスル　→　破壊されて何かやっているのか

→瓦礫を片付けることから

→国際社会の手が加えられている

悲惨さを極めていた

→イスラムの戦闘員→地元の人たちもいた

→家族で戦闘員やっている人など

→他の市民を人質にしたりしていた

→自分たちの情報を売ったりしているのか

→処刑されてしまう

→抵抗をイスラム国の人々は続けていた

→住宅地域、地元の人も徹底抗戦していた

プーチン、トランプの会談→譲歩の可能性が高い

→もともとロシアと接近したい

→トランプは欧州よりも、ロシアと仲良くしていたい→貿易関係でも利益を得たいという考え方